

今年もたくさんの方々の期待に応えて 「合格祈願ねじプレゼント」キャンペーンを 12月から始めます。

昨年度は3,000名を超える方にプレゼントしました。

過去2回実施、各方面から話題をよんでいる、受験生を応援する
合格祈願ねじプレゼントキャンペーンを、さらにバージョンアップして展開していきます。

キャンペーンは当社日東精工の樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を特別加工し、ゆるまないことは集中力持続につながる、つまり最後の追い込みまで悔いなく実力発揮ができるシンボルとして、受験生にプレゼントするものです。

他力本願ではなく、ご本人の努力が報われるように応援するというコンセプトはこれまで通りですが、今回はよりバージョンアップして、ねじの頭部を五角形にしています。五角形のねじというのは珍しく、当社のオリジナルで、「ごかく」が「ごうかく」へとつながることを願い、つくりました。

また頭部には「祈成就」と刻印もしています。あまり一般の方には知られていませんが、ねじの頭部にはドライバーでの締結用にいわゆる十字穴（プラス）やマイナスの溝を設けるだけでなく、数字やイラスト、ロゴマークなどを刻印できます。関係者のみがわかる印をほとんどわからないように付けることもでき、これが偽造や不正の防止にも役立っているわけですが、この技術も駆使して、まさに、まっすぐ正しく目標に向かう人たちを応援する仕様となっています。金色に加工していますので「輝いてほしい」という願いも凝縮しました。

この合格祈願ねじを販売すれば利益が上がるので



はといった声もあり、たくさん販売してほしいという声も実際ありますが、キャンペーンとしてプレゼントするという基本を変える予定はありません。話題になればそれだけ当社がコストを負担することにもなりますが、昨年度はNHKのニュースで取り上げていただくなど多くのメディアで紹介されました。これは当社のブランド訴求、企業価値向上につながりますし、なにより受験生やそのご家族、関係者からのたくさん声を直接いただくことで、自分たちのつくったものが役立っている、喜んでいただけているという、当社社員の自信や誇りにもなっています。

キャンペーンの詳細や応募方法は
当社ホームページをご覧ください。

http://www.nittoseiko.co.jp/news/jyukensei_yurumidome_2017.html



これまで寄せられた声

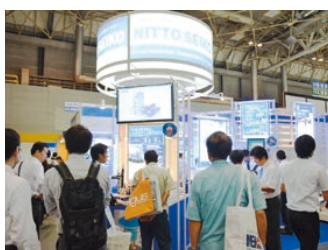
- ★無事合格しました。
今度はこちらが日東精工を応援します！
- ★海外での単身赴任中。そばで何もしてあげられない息子にプレゼントしたい。
- ★受けもつクラスの全員に渡したいので35個お願いします。
- ★定年退職後10年、自分にねじを巻くお守りにしたいです。



9月、10月は展示会が目白押し 国内外で当社技術を強くアピールしました

前号のニュースレターでは9月12日から17日までアメリカ・シカゴで開催され、当社も出展した国際工作見本市「IMTS2016」のことをレポートしました。「IMTS」は来場者が10万人を超えるスケールの大きさがあり、従来の日系企業のお客様だけでなく、非日系の新規のお客様と数多く出会え、通常よりも引き合いや見積り依頼のスピードが速いことなどをご紹介しました。じつは10月も展示会が目白押しで、当社日東精工は国内外5つの展示会に出展しました。

まず10月5日から7日までインテックス大阪で開催された関西最大の「第19回関西機械要素技術展」。



こちらでは体験・実演コーナーを多数設け、たとえばCFタイトとNXドライバの組み合わせで、CFタイトのねじ込み特性と低トルク帯におけるNXドライバの高精度締結を直接その場で確認できるように実演。ねじ締めロボットと振動検査装置KizMILと樹脂用ゆるみ止めねじギザタイトの組み合わせで、従来できなかった0.2mmの高精度ねじ浮きや樹脂割れを検出するといった、ファスナー、産機、制御システムの3つの事業部が連携する当社の強み「締結分野のトータルソリューション」を強く訴求しました。

「LIVING & DESIGN2016」ではLED電球スピーカー「MUELIGHT」も話題に

また10月12日から14日まで大阪南港ATCホールで開催された、住まいと暮らしのリノベーションをテーマにした「LIVING & DESIGN2016」に、当社日東精工もグループ会社である和光と共同出展いたしました。

ニュースレター9月号で大きく紹介していますが、

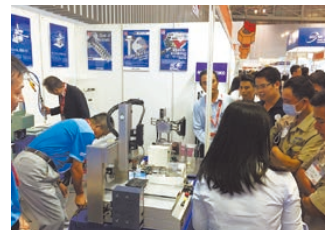
当社では「MUELIGHT（ミューライト）」を新発売。これはスピーカー機能のついたLED電球で、照明器具が手軽にスピーカーとして楽しめるというもの。スマホや携帯タブレットのBluetooth機能を使って同期させることで、高音質の音楽を自由に自分の好きな場所で聞くことができるスグレものです。この商品をメインに、伸張著しいバルコニー用タイルやサニタリーとともに出展し、評判を呼びました。



当ブースをテレビ取材いただきました

さらに10月19日から21日まで東京ビッグサイトで開催された「2016洗浄総合展」では制御システム事業部のマイクロバブル洗浄装置「バブ・リモ」をデモンストレーション。10月26日から28日まではマリンメッセ福岡で「モノづくりフェア2016」が開催、グループ会社である九州日東精工ブースに日東精工と日東公進が出展協力する形で総合力を訴求しました。

また国内だけでなく、10月6日から8日まで、ベトナムで開催された「METALEX Vietnam2016」にも出展しています。ベトナムは当社のねじ締め機の受注が続くなど、今後新規顧客獲得、伸張が大いに期待される国で昨年に続く2年連続の出展となりました。アジア市場での日東精工のブランドを確立するとともにタイやインドネシアなどの近隣諸国との横串展開を図りながら、グローバル化を加速していくものです。



※ベトナムの「METALEX」に当社代表取締役社長材木正己も視察。メディアによる動画(You Tube)は当社ホームページの「動画コンテンツはこちら」からご覧いただけます。

<http://www.nittoseiko.co.jp/products.html>

IR工場見学会を開催。 綾部市内の3つの工場を 見学いただきました。

当社日東精工のファスナー工場を見学されると、ほとんどの方が「こんな微小のねじがものすごいスピードで生産されるのですね」とねじの生産効率に驚かれたり「ねじが愛おしくなりました」とねじの機能美に感心されたりして、更に当社への理解を深めていただけるようになります。

10月4日、決算説明会などに御出席いただいている機関投資家をお招きし工場見学会を実施。ファスナー工場や産機工場などへご案内しました。参加いただいた方から「百聞は一見に如かず、とてもいい経験になりました」とうれしい評価をいただきました。



日東精工を空から眺めてみると 新しいものが 見つかるかもしれない？

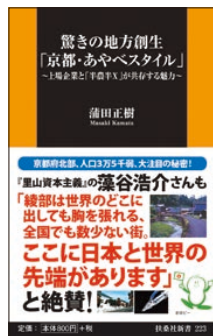
毎週火曜日夜8時から8時55分まで、テレビ東京系BSジャパンで放映されている「空から日本を見てみよう+」は伊武雅刀さんと柳原可奈子さんのナレーションで楽しむ新感覚バラエティ番組です。一度は行ったことのある観光地や、ふだん何気なく降りているあの駅も空から見ると、まったく違う、見たこともない驚きの景色に大変身！9月16日、当社、日東精工も取材を受けました。放送予定日は11月15日（2時間スペシャルで夜7時から放映）どんな形で当社が映っているか、新しい発見があるか楽しみです。



©BSジャパン

当社日東精工も丁寧に 紹介されている地方創生を 綾部から学ぶ書籍が話題です。

フジテレビ系列の出版社・扶桑社から『驚きの地方創生「京都・あやべスタイル」』という書籍が11月1日に刊行されました。日東精工の本社がある京都府綾部市にはじつは地方創生のヒントがいっぱいあるという切り口で、「限界集落」を「水源の里」に甦らせた綾部市のユニークな取り組みなどと並んで、当社日東精工の人財教育や地域貢献が1章分30ページを超える分量で紹介されています。『里山資本主義』や『デフレの正体』などのベストセラー著者・藻谷浩介さんも絶賛。山崎善也市長だけでなく四方八洲男前市長も登場する異色、かつ話題の書籍です。



蒲田正樹著 定価800円

日経産業新聞が当社を大きく紹介 研究開発を加速、新規事業への 期待に応える組織づくりも

10月14日の日経産業新聞で当社が大きく取り上げられました。3面で『「産業の塩」積み上げ月へ』という見出しで当社の地盤調査機「ジオカルテ」を中心に当社の3事業の連携の強みを、また12面でも代表取締役社長材木正己のインタビューが掲載され、アナリストや機関投資家の方々の当社への注目度が高まりました。当社ではこの度、研究開発の加速や新規事業領域への展開を図るため開発研究所内に開発企画課を設置。また企画室も経営企画室に改称しました。今後も組織が硬直化しないようフレキシブルに対応、企業価値を高めてまいります。



2016年10月14日
日経産業新聞(3面)

「一ケ」は「いっけ」それとも「いっこ」？
ふだん使いの言葉を改めて見直そう

デパートなどでは最初から値段が印字されているものが多いのですが、それでも八百屋さんやスーパーの鮮魚コーナーなどで「りんご5ケ600円」「サザエ3ケ1000円」といったように手書きで「ケ」と書かれている値札をよく目にします。この「ケ」を何と読むかを御存じでしょうか。

「ケ（KE）」でなく「コ（KO）」と読むのが正しいのです。しかしパソコンで「いっこ」と打ち込むと一己、一個、一顧などと変換されますが、「一ケ」とは出てきません。「いっこ」と読むというのにふしぎですが、種明かしをすると……「ケ」はカタカナの「ケ」とは関係なく、「箇」という字の古い形からきており、竹を数える言葉だったそうです。かつて「箇」の別体として「个」という文字があり、「こ」もしくは「か」と読み、モノの数を数えるのに使われていました。そして「个」の字を崩して書くと「ケ」のように見え、それでいっしょにカタカナの「ケ」と

混同されるようになり、今に至っているのです。箇という漢字の竹カンムリの変形という言い方もできそうです。

では「タ」は？ ふだんなにげなく使っている言葉を見直すと意外な発見がありますから、ぜひご自身で調べてみてください。

そして、ふだん使いの言葉や用語は違う意味でも見直してみましよう。わかったつもり、曖昧理解のまま専門用語やカタカナ言葉を使っていますか？ それから、たとえば工場などで「常昼勤務」などという表現を使うことがありますが、一般の方なら「常駐」の間違いないかと思ってしまうます。略語や符丁は便利ですが、同じ職場内、業界内で通用することが、業界外だと通じないことがあります。初対面のお客様などの場合、自分がいつも使っている言葉が、必ずしも同じように相手から受けているとは限らないと心得たものです。

(経営コンサルタント・蒲田春樹)



ねじのある街・あやべの魅力

感謝の気持ち300年も続く、
建田のこんぴらさん

日東精工の本社がある綾部市には口上林という地区があり、ここには「建田のこんぴら講」が今も残っています。

圧政に苦しむ3つの農村から若者が選ばれ幕府へ直訴に出かけた。命を賭して困難を乗り越え無事成就。これは日頃信仰する「こんぴら大権現」の御加護によるものだと願かけの通り千年の講を行うこととし、その後毎年盛大な講を営んでいます。

ちなみに建田は武吉、佃、忠の3つの村の最初の字を並べた

もの。輪番でそれぞれの村が1年間ご神体をお祀りします。当番の家は1年間、参拝者などのお世話をする、これが今なお300年も続いているのです(千年まであと700年!)。人は、一般には、してあげたことは覚えていて、していただいた(された)ことは忘れがちですが、綾部の人は正直に律義に今も感謝の思いを守り続けているわけです。当社日東精工も、お客様への「感謝」の気持ちを忘れないうよう、心がけてまいります。

ねじ大好き!

コラム

日本の近代化のシンボルとして
チョコレートの「ねじ」が発売中

北九州のお土産で「ネジチョコ」を見つめました。かつての八幡製鉄所(現在の新日鐵八幡住金)などが「明治日本の産業革命遺産」に選ばれたことをきっかけに、なにかそれに相応しい新しいモノをということで「ねじ」が選ばれたそうです。

ニュースレター2015年8月号では、近代化のシンボルとして「ねじ」を紹介しています。江戸末期、幕臣・小栗上野介がワシントン海軍造船所などを視察。帰国後、莫大な費用がかかると大反対されながらも、徳川がたとえ滅んでも国家の未来のためにと横須賀造船所をつくらせた。これが日本の近代化の始まりで、小栗上野介がアメリカからも帰った「ねじ釘」が近代化のシンボルとして今も群馬県高崎市の東善寺に保管されています。「ねじが近代化のシンボル」という考えが、「ネジチョコ」となって今も脈々と受け継がれているというのはうれしいですね。



「ネジチョコ」は2種類商品化され普通のプレーンな「ネジチョコ」とココアパウダーを振ってサビを表現した「ネジチョコココア」。1個入り 各54円のほかに写真のように箱入りもあり。